

第3回ケアマネ初任者研修会・つどい 報告書

徳島県介護支援専門員協会運営委員会

日 時：令和4年3月19日（土）13:30～16:20

会 場：Zoom によるオンライン開催

参加者：11 名 （ほかに委員 2 名）

テーマ：サービス担当者会議・モニタリング

【内容】

二部に分かれて行い、前半は講義とグループワーク（司会は松本委員長）、後半は参加者からの質問に松本委員長が答える形で実施しました。

【講義内容】

石田委員から、次の点について講義を行いました。

① サービス担当者会議

サービス担当者会議の意義、参加者とのスケジュール調整、サービス担当者会議の流れ、進行役の心得、話し合いの進め方・決め方・終わり方など。

② モニタリング

モニタリングの目的と手法、その担い手、状況の変化と把握、長期目標・短期目標の達成度の検証、満足度とサービスの調整、リスクマネジメント、モニタリング記録など。

【後半の質疑内容】

参加者からの主な質疑は次のようなものでした。

（問）サービス担当者会議のときに、ケアマネジャーだけが話しているようになってしまう。

（答）一つ一つ内容のすり合わせを項目によって行うことで、項目に関わっている人からの意見や思いを聴くようにしていく。

（問）モニタリングの訪問を本人、家族が拒否されときの対応のしかた。

（答）初回の契約のときに、モニタリングの必要性を十分に、本人、家族が理解できるように説明することが大切である。

（問）モニタリングに行っても、妻がずっと話していて、本人からの話がなかなか聞けないケースの場合。

（答）訪問すると、先にケアマネから「本人と話を先に 10 分行う」と説明し、「後の時間は妻との時間に考えていること」を先に説明する。妻との時間を十分にとっていることを理解してもらう。

(問) 主治医との連携がとりにくくて困ってしまう。

(答) ケアマネは皆さん同じであり、主治医との連携が得意な人はいません。でも、主治医と連携をとるときは、利用者の疾患に対する基礎知識は必要であり、分からないときは事前に自分で調べておく必要がある。

(問) 利用者に合ったケアプランが作れていないように思う。

(答) 利用者の主訴を十分に聞き取り、「利用者が何に困っているのか」、生活場面で細かく切り取り、聞き取りを行う。深堀を行うことで、「利用者が何に困っているか」を自覚でき、「どのような支援や何をするによってどうなりたいか」を理解していく。



サービス担当者会議と モニタリング

徳島県看護協会 協定居宅介護支援事業所徳島
石田 直子

サービス担当者会議 講義内容

- ・サービス担当者会議の意義・参加者とスケジュール調整
- ・サービス担当者会議の種類と流れ
- ・進行役の心得
- ・話し合いの進め方・決め方・終わり方